

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 2 月 27 日 (2020.2.27)

【公表番号】特表 2019-507120 (P2019-507120A)

【公表日】平成 31 年 3 月 14 日 (2019.3.14)

【年通号数】公開・登録公報 2019-010

【出願番号】特願 2018-537810 (P2018-537810)

【国際特許分類】

C 0 7 D	487/04	(2006.01)
A 6 1 K	31/4985	(2006.01)
A 6 1 K	31/5025	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	17/06	(2006.01)
A 6 1 P	37/02	(2006.01)
A 6 1 P	13/12	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	11/06	(2006.01)
A 6 1 P	11/02	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 P	1/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/06	(2006.01)
A 6 1 P	19/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)
A 6 1 P	37/08	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)

【 F I 】

C 0 7 D	487/04	1 4 7
C 0 7 D	487/04	C S P
A 6 1 K	31/4985	
A 6 1 K	31/5025	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 P	13/12	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	11/02	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	1/00	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	19/00	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	27/02	
A 6 1 P	37/08	
A 6 1 P	43/00	1 1 1

【手続補正書】

【提出日】令和2年1月17日(2020.1.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

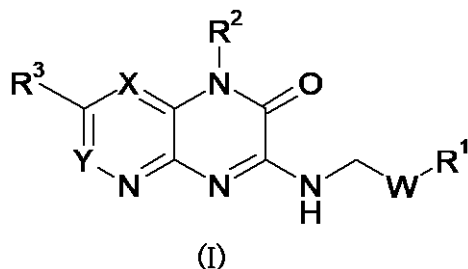
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(I)の化合物又は医薬的に許容されるその塩。

【化1】



(式中、XはN及びYはCであるか、XはC及びYはNであり、

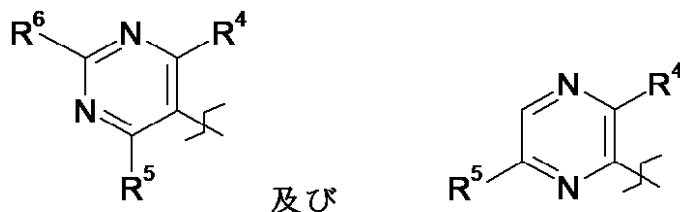
Wはピリジニル、ピリミジニル、及びフェニルから選択され、

R<sup>1</sup>は-S(O)<sub>n</sub>R<sup>7</sup>、-S(O)<sub>n</sub>NR<sup>8</sup>R<sup>9</sup>及び-S(O)(NH)R<sup>7</sup>から選択され、  
R<sup>7</sup>はC<sub>1-3</sub>アルキルであり、R<sup>8</sup>及びR<sup>9</sup>は各々-Hであり、nは1又は2であり、

R<sup>2</sup>は、C<sub>3-6</sub>シクロアルキル、ハロゲン、-CF<sub>3</sub>及び-CNから独立して選択される  
1つ又は2つの基で置換されてもよいC<sub>1-6</sub>アルキルであり、

R<sup>3</sup>は、

【化2】



から選択され、

R<sup>4</sup>及びR<sup>5</sup>は独立してC<sub>1-3</sub>アルキル、シクロプロピル及びメトキシから選択され、

R<sup>6</sup>はH、-NH<sub>2</sub>、C<sub>1-3</sub>アルキル、シクロプロピル及びメトキシから選択される)

【請求項2】

XはN及びYはCであるか、XはC及びYはNであり、

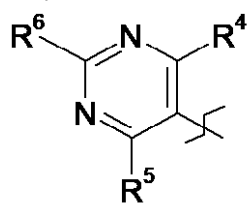
Wは2-ピリジニル、3-ピリジニル、2-ピリミジニル及びフェニルから選択され、

R<sup>1</sup>は-S(O)<sub>n</sub>R<sup>7</sup>から選択され、R<sup>7</sup>はC<sub>1-3</sub>アルキルであり、nは2であり、

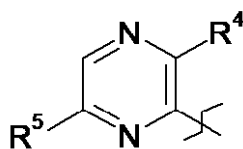
R<sup>2</sup>は、シクロプロピル、-CF<sub>3</sub>及び-CNから独立して選択される1つ又は2つの基  
で置換されてもよいC<sub>1-6</sub>アルキルであり、

R<sup>3</sup>は、

【化 3】



及び



から選択され、

 $R^4$  及び  $R^5$  は独立して  $C_{1-3}$  アルキル、シクロプロピル及びメトキシから選択され、 $R^6$  は H 及び  $-NH_2$  から選択される、請求項 1 記載の式 (I) の化合物又は医薬的に許容されるその塩。

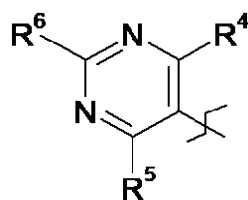
【請求項 3】

X は N 及び Y は C である、請求項 1 記載の式 (I) の化合物又は医薬的に許容されるその塩。

【請求項 4】

 $R^3$  は、

【化 4】



である、請求項 1 記載の式 (I) の化合物又は医薬的に許容されるその塩。

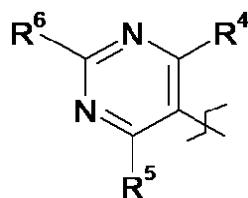
【請求項 5】

X は N 及び Y は C であり、

W は 2 - ピリジニル又は 3 - ピリジニルであり、

 $R^1$  は  $-S(O)_n R^7$  から選択され、 $R^7$  は  $C_{1-3}$  アルキルであり、n は 2 であり、 $R^2$  はシクロプロピルで置換されてもよい  $C_{1-5}$  アルキルであり、 $R^3$  は、

【化 5】



であり、

 $R^4$  及び  $R^5$  は独立して  $C_{1-3}$  アルキル、シクロプロピル及びメトキシから選択され、 $R^6$  は H である、請求項 1 記載の式 (I) の化合物又は医薬的に許容されるその塩。

【請求項 6】

下記化合物からなる群から選択される、請求項 1 記載の式 (I) の化合物又は医薬的に許容されるその塩。

## 【化 6】

1		7	
2		8	
3		9	
4		10	
5		11	
6		12	

## 【請求項 7】

請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の式 (I) の化合物及び医薬的に許容される賦形剤又は担体を含む医薬組成物。

## 【請求項 8】

自己免疫疾患又はアレルギー性疾患を治療するための医薬組成物であって、  
請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の式 ( I ) の化合物又は医薬的に許容されるその塩  
を含む、前記医薬組成物。

【請求項 9】

前記自己免疫疾患又はアレルギー性疾患は、関節リウマチ、乾癬、全身性エリテマトーデス、ループス腎炎、強皮症、喘息、アレルギー性鼻炎、アレルギー性湿疹、多発性硬化症、若年性関節リウマチ、若年性突発性関節炎、Ⅰ型糖尿病、炎症性腸疾患、移植片対宿主病、乾癬性関節症、反応性関節炎、強直性脊椎炎、クローン病、潰瘍性大腸炎及びブドウ膜炎から選択される、請求項 8 記載の医薬組成物。